

令和6年度(2024年度)用

小学校国語科書写用

---

# 「新編 新しい書写」 年間指導計画作成資料 【1年】

---

令和6年(2024年)1月版

※単元ごとの配当時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

「新編 あたらしいしよしゃー」(第1学年)年間指導計画

月	単元名 学習指導要領との対応 他教科との関連	単元の目標	時数	学習活動 【書写のかぎ】	観点別評価規準
4	<p>●がっこうにはどんな もじがあるかな ・もじをかきしせい ・かきやすいもちかた ・えんぴつでかいてみよう</p> <p>表紙裏～p.7</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア) 【用具】鉛筆</p>	<p>○1年間の学習を見通すことができる。</p> <p>○書きやすい姿勢と鉛筆の持ち方を理解して書くことができる。</p>	2	<p>①身の回りにある文字を想起し、書写学習への意欲を高める。</p> <p>②1年間の学習の流れを見通す。</p> <p>③書きやすい姿勢・鉛筆の持ち方を学習し、丁寧に書く態度を身につける。</p> <p>【姿勢・持ち方】</p> <p>④平仮名や片仮名、漢字の点画の書き方に通じるいろいろな線を書き、運筆に慣れるとともに、書写学習への関心・意欲を高める。</p> <p>⑤姿勢・鉛筆の持ち方について、自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】</p> <p>○書きやすい姿勢と鉛筆の持ち方を理解して書いている。</p> <p>【主】</p> <p>○学習の見通しを持って、積極的に、書きやすい姿勢と鉛筆の持ち方で書こうとしている。</p>
5	<p>【ひらがな】 ○かきはじめとかきおわり</p> <p>p.8～10</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ) 【用具】鉛筆・水書用筆</p>	<p>○平仮名の始筆と終筆（「止め」「払い」「はね」）の書き方を理解し、正しく書くことができる。</p>	2	<p>①平仮名の始筆と、終筆の違い（「止め」「払い」「はね」）の書き方を確認する。</p> <p>【点画の書き方】始筆・終筆</p> <p>②始筆と、終筆の違い（「止め」「払い」「はね」）に注意して書く。</p> <p>③自己評価・相互評価をする。</p> <p>○水書用紙と水書用筆等を使用して、終筆を確認する。</p>	<p>【知・技】</p> <p>○平仮名の始筆と終筆（「止め」「払い」「はね」）の書き方を理解している。</p> <p>○平仮名の始筆・終筆に注意して書いている。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○さまざまな文字の始筆や終筆がどのようになっているか考えている。</p> <p>【主】</p> <p>○学習したことを生かして書いた文字を見直し、始筆と終筆に気をつけて、進んで丁寧に書こうとしている。</p>
5	<p>【ひらがな】 ○かくじゅんじょ</p> <p>p.11</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ) 【用具】鉛筆・水書用筆</p>	<p>○筆順を理解し、筆順に従って書くことができる。</p>	1	<p>①筆順の原則を確認する。</p> <p>【書くときの動き】筆順</p> <p>②筆順に注意して、筆順に従って書く。</p> <p>③文字の書き始めの位置を確認する。</p> <p>④自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】</p> <p>○文字には筆順があることを理解し、筆順に従って書いている。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○さまざまな文字について、どのような筆順なのか考えている。</p> <p>【主】</p> <p>○学習したことを生かして書いた文字を見直し、筆順に従って、進んで書こうとしている。</p>
6	<p>【ひらがな】 ○「まがり」</p> <p>p.12～13</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ) 【用具】鉛筆・水書用筆</p>	<p>○平仮名の「曲がり」の書き方を理解し、正しく書くことができる。</p>	1	<p>①平仮名の「曲がり」の書き方を確認する。</p> <p>【点画の書き方】「曲がり」</p> <p>②「曲がり」に通じる線の練習をする。</p> <p>③「曲がり」の書き方をほかの文字に広げて、筆順に従って書く。</p> <p>④自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】</p> <p>○平仮名の「曲がり」の書き方を理解している。</p> <p>○平仮名の「曲がり」を正しく書いている。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○平仮名の「曲がり」の書き方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】</p> <p>○学習したことを生かして書いた文字を見直し、「曲がり」の書き方に気をつけて、進んで書こうとしている。</p>

月	単元名 学習指導要領との対応 他教科との関連	単元の目標	時数	学習活動 【書写のかぎ】	観点別評価規準
6	<p>【ひらがな】 ○「おれ」 p.14～15</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ) 【用具】鉛筆・水書用筆</p>	○平仮名の「折れ」の書き方を理解し、正しく書くことができる。	1	<p>①平仮名の「折れ」の書き方を確認する。 【点画の書き方】「折れ」(平仮名)</p> <p>②「折れ」に通じる線の練習をする。</p> <p>③「折れ」の書き方をほかの文字に広げて、筆順に従って書く。</p> <p>④自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】 ○平仮名の「折れ」の書き方を理解している。 ○平仮名の「折れ」を正しく書いている。</p> <p>【思・判・表】 ○平仮名の「折れ」の書き方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、「折れ」の書き方に気をつけて、進んで書こうとしている。</p>
6	<p>【ひらがな】 ○「むすび」 p.16～17</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ) 【用具】鉛筆・水書用筆</p>	○平仮名の「結び」の書き方を理解し、正しく書くことができる。	2	<p>①平仮名の「結び」の書き方を確認する。 【点画の書き方】「結び」(平仮名)</p> <p>②「結び」に通じる線の練習をする。</p> <p>③「結び」の書き方をほかの文字に広げて、筆順に従って書く。</p> <p>④自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】 ○平仮名の「結び」の書き方を理解している。 ○平仮名の「結び」を正しく書いている。</p> <p>【思・判・表】 ○平仮名の「結び」の書き方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、「結び」の書き方に気をつけて、進んで書こうとしている。</p>
7	<p>【ひらがな】 ○もじのかたち p.18</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ) 【用具】鉛筆・水書用筆</p>	○外形の整え方を理解し、正しく整えて書くことができる。	1	<p>①平仮名の外形の整え方を確認する。 【字形】外形</p> <p>②平仮名の外形に注意して、筆順に従って書く。</p> <p>③平仮名の外形の整え方をほかの文字に広げて、筆順に従って書く。</p> <p>④自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】 ○外形の整え方を理解している。 ○外形を正しく整えて書いている。</p> <p>【思・判・表】 ○外形の整え方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、外形に気をつけて、進んで書こうとしている。</p>
7	<p>【ひらがな】 ○にているけれどちがうひらがな p.19</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ) 【用具】鉛筆・水書用筆</p>	○字形が似ている平仮名の相違点を理解することができる。	1	<p>①字形が似ている平仮名の相違点を探す。 【点画の書き方】始筆・送筆・終筆 【字形】外形</p> <p>②どこに注意して書くと、似ている平仮名を区別して書き分けることができるか確かめる。</p> <p>③自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】 ○似ている平仮名の相違点を理解している。</p> <p>【思・判・表】 ○似ている平仮名を書き分けるにはどうすればよいか考えている。</p> <p>【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、終筆や外形に注意して、進んで書こうとしている。</p>

月	単元名 学習指導要領との対応 他教科との関連	単元の目標	時数	学習活動 【書写のかぎ】	観点別評価規準
9	<p>【ひらがな】 ○ひらがなのひょう p.20～21</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ) 【用具】鉛筆・水書用筆</p>	<p>○平仮名を、既習事項を確認しながら、筆順に従って正しく書くことができる。</p> <p>○濁点と半濁点のつく文字の書き方を理解することができる。</p> <p>○拗音や促音の文字の書き方を理解することができる。</p>	1	<p>①平仮名を、既習事項を確認しながら、筆順に従って丁寧に書く。</p> <p>②濁点や半濁点のつく文字の書き方を確認する。</p> <p>③拗音や促音の文字の大きさや書く位置を確認する。</p> <p>④自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】</p> <p>○平仮名を、正しい字形で筆順に従って書いている。</p> <p>○濁点と半濁点のつく文字の書き方を理解している。</p> <p>○拗音や促音の文字の書き方を理解している。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○これまでに学習した始筆・送筆・終筆の書き方をどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】</p> <p>○学習したことを生かして書いた文字を見直し、字形に気をつけて、進んで書こうとしている。</p>
9	<p>【ひらがな】 ○よこがき① p.22</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ) 【用具】鉛筆・水書用筆</p>	<p>○横書きの書き方を理解することができる。</p> <p>○数字の書き方を理解することができる。</p>	1	<p>①横書きの際の書き進める方向を確認する。</p> <p>②横書きの際の拗音や促音、句読点、数字の書き方を確認する。</p> <p>③自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】</p> <p>○横書きの書き進める方向を理解している。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○横書きの書き方を、ほかの文字にどのように生かすかを考えている。</p> <p>【主】</p> <p>○学習したことを生かして書いた文字を見直し、横書きの書き方に気をつけて、進んで書こうとしている。</p>
9	<p>▼せいかつにひろげよう ・につきをかこう p.23</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ) 【用具】鉛筆 ★他教科との関連：国語</p>	<p>○既習の平仮名の書き方を理解し、日記を書く場面で生かすことができる。</p> <p>○句読点やかぎの書き方を理解することができる。</p>	1	<p>①既習の平仮名の書き方を確認する。</p> <p>②句読点やかぎの書き方を確認する。</p> <p>③既習事項を生かして、日記を丁寧に書く。</p> <p>④自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】</p> <p>○既習の平仮名の書き方を理解して書いている。</p> <p>○句読点やかぎの書き方を理解している。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○目的に応じて、既習事項をどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】</p> <p>○既習事項を生かして、進んで日記を書こうとしている。</p>
9・10	<p>【かたかな】 ○「とめ」「はね」「はらい」と「おれ」「まがり」 p.24～25</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ) 【用具】鉛筆・水書用筆</p>	<p>○片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」の書き方を理解し、正しく書くことができる。</p>	2	<p>①片仮名の「止め」「はね」「払い」の書き方を確認する。 【点画の書き方】始筆・終筆</p> <p>②「止め」「はね」「払い」の書き方に注意して、筆順に従って書く。</p> <p>③片仮名の「折れ」「曲がり」の書き方を確認する。 【点画の書き方】「折れ」「曲がり」</p> <p>④「折れ」「曲がり」の書き方をほかの文字に広げて、筆順に従って書く。</p> <p>⑤自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】</p> <p>○片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」の書き方を理解している。</p> <p>○片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」を正しく書いている。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」の書き方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】</p> <p>○学習したことを生かして書いた文字を見直し、片仮名の「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」の書き方に気をつけて、進んで書こうとしている。</p>

月	単元名 学習指導要領との対応 他教科との関連	単元の目標	時数	学習活動 【書写のかぎ】	観点別評価規準
10	<p>【かたかな】 ○かたかなのひょう p.26～27</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ) 【用具】鉛筆・水書用筆</p>	<p>○片仮名を、既習事項を確認しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。</p> <p>○濁点と半濁点のある文字の書き方を理解することができる。</p> <p>○促音と長音符号の書き方を理解することができる。</p>	1	<p>①片仮名を、既習事項を確認しながら、筆順に従って丁寧に書く。</p> <p>②濁点や半濁点のつく文字の書き方を確認する。</p> <p>③長音符号の大きさや書く位置を確認する。</p> <p>④自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】</p> <p>○片仮名を、既習事項を確認しながら、筆順に従って書いている。</p> <p>○濁点と半濁点の書き方を理解している。</p> <p>○促音と長音符号の書き方を理解している。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○これまでに学習した始筆・送筆・終筆の書き方をどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】</p> <p>○学習したことを生かして書いた文字を見直し、字形に気をつけて、進んで書こうとしている。</p>
10	<p>【かたかな】 ○よこがき② p.28</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ) 【用具】鉛筆・水書用筆</p>	<p>○横書きの書き方を理解することができる。</p>	1	<p>①横書きの際の書き進める方向を確認する。</p> <p>②横書きの際の拗音や促音、長音の文字の書き方を確認する。</p> <p>③自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】</p> <p>○横書きの書き進める方向を理解している。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○横書きの書き方をほかの文字にどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】</p> <p>○学習したことを生かして書いた文字を見直し、横書きの書き方に気をつけて進んで書こうとしている。</p>
10	<p>▼せいかつにひろげよう ・なまえをかこう p.29</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ) 【用具】鉛筆・フェルトペンほか</p>	<p>○既習の平仮名と片仮名の書き方を理解し、名前を書く場面で生かすことができる。</p>	1	<p>①平仮名と片仮名の書き方を確認する。</p> <p>②既習事項を生かして、名前を丁寧に書く。</p> <p>③自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】</p> <p>○既習の平仮名と片仮名の書き方を理解している。</p> <p>○数字の書き方を理解している。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○目的に応じて、既習事項をどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】</p> <p>○既習事項を生かして、進んで名前を書こうとしている。</p>
11	<p>【かん字】 ○「とめ」「はね」「はらい」 p.30～31</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ) 【用具】鉛筆・水書用筆</p>	<p>○漢字の「止め」「はね」「はらい」の書き方を理解し、正しく書くことができる。</p>	2	<p>①漢字の「止め」「はね」「はらい」の書き方を確認する。 【点画の書き方】始筆・終筆</p> <p>②「止め」「はね」「はらい」に通じる線の練習をする。</p> <p>③「止め」「はね」「はらい」の書き方をほかの文字に広げて、筆順に従って書く。</p> <p>④自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】</p> <p>○漢字の「止め」「はね」「はらい」の書き方を理解している。</p> <p>○漢字の「止め」「はね」「はらい」を正しく書いている。</p> <p>【思・判・表】</p> <p>○漢字の「止め」「はね」「はらい」の書き方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】</p> <p>○学習したことを生かして書いた文字を見直し、漢字の「止め」「はね」「はらい」の書き方に気をつけて、進んで書こうとしている。</p>

月	単元名 学習指導要領との対応 他教科との関連	単元の目標	時数	学習活動 【書写のかぎ】	観点別評価規準
11	<p>【かん字】 ○「おれ」「まがり」「そり」 p.32～33</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3)ウ(ア)(イ) 【用具】鉛筆・水書用筆</p>	○漢字の「折れ」「曲がり」「反り」の書き方を理解し、正しく書くことができる。	2	<p>①漢字の「折れ」「曲がり」「反り」の書き方を確認する。 【点画の書き方】「折れ」「曲がり」「反り」</p> <p>②「折れ」「曲がり」「反り」に通じる線の練習をする。</p> <p>③「折れ」「曲がり」「反り」の書き方をほかの文字に広げて、筆順に従って書く。</p> <p>④自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】 ○漢字の「折れ」「曲がり」「反り」の書き方を理解している。 ○漢字の「折れ」「曲がり」「反り」を正しく書いている。</p> <p>【思・判・表】 ○漢字の「折れ」「曲がり」「反り」の書き方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、漢字の「折れ」「曲がり」「反り」の書き方に気をつけて、進んで書こうとしている。</p>
12	<p>◇文字といっしょに ・かきぞめをしよう p.34～35</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3)ウ(ア)(イ) 【用具】鉛筆（フェルトペン）</p>	○既習の平仮名、片仮名、漢字の書き方を理解して、書き初めを丁寧に書くことができる。	2	<p>①既習事項を確認する。</p> <p>②文例を視写する。</p> <p>③既習事項を生かして、丁寧に書き初めをする。</p> <p>④自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】 ○既習の平仮名、片仮名、漢字の書き方を理解して、丁寧に書いている。</p> <p>【思・判・表】 ○既習事項をどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】 ○既習事項を生かして、進んで書き初めを書こうとしている。</p>
1	<p>【かん字】 ○文字のかたち p.36</p> <p>◎〔知識及び技能〕(3)ウ(ア)(イ) 【用具】鉛筆・水書用筆</p>	○外形の整え方を理解し、正しく整えて書くことができる。	1	<p>①漢字の外形の整え方を確認する。 【字形】外形</p> <p>②漢字の外形に注意して、筆順に従って書く。</p> <p>③自己評価・相互評価をする。</p>	<p>【知・技】 ○外形の整え方を理解している。 ○外形を正しく整えて書いている。</p> <p>【思・判・表】 ○外形の整え方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。</p> <p>【主】 ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、外形に気をつけて、進んで書こうとしている。</p>
	<p>◇文字といっしょに ・かん字のはなし p.37</p> <p>★他教科との関連：国語</p>	○漢字の成り立ちを知って、漢字を書くことへの興味を高めることができる。	—	①漢字の成り立ちを知り、書写学習に興味をもつ。	<p>【主】 ○漢字の成り立ちを知ることを楽しみ、意欲的に学ぼうとしている。</p>

月	単元名 学習指導要領との対応 他教科との関連	単元の目標	時数	学習活動 【書写のかぎ】	観点別評価規準
1	<b>【かん字】</b> ○ひつじゅんのきまり p.38～39 ◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ) <b>【用具】</b> 鉛筆（フェルトペン）	○筆順の原則を理解し、原則に従って正しく書くことができる。	2	①筆順の原則を確認する。 <b>【書くときの動き】筆順</b> ②筆順の原則をほかの文字に広げて、筆順に従って書く。 ③自己評価・相互評価をする。	<b>【知・技】</b> ○筆順の原則を理解している。 ○筆順の原則に従って、正しく書いている。 <b>【思・判・表】</b> ○筆順の原則を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 <b>【主】</b> ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、筆順に従って、進んで書こうとしている。
2	<b>【かん字】</b> ○かくのながさとほうこう p.40～41 ◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ)(ウ) <b>【用具】</b> 鉛筆（フェルトペン）	○画の長さの違いに気をつけて書くことができる。 ○画の方向の違いに気をつけて書くことができる。	2	①画の長さや方向に注意して文字を書くことを確認する。 <b>【字形】点画の長さ、点画の方向</b> ②画の長さや方向に注意して、誤った例を書き直す。 ③画の長さや方向の整え方をほかの文字に広げて、筆順に従って書く。 ④自己評価・相互評価をする。	<b>【知・技】</b> ○画の長さや方向に注意することを理解している。 ○画の長さや方向に注意して、正しく書いている。 <b>【思・判・表】</b> ○画の長さや方向の整え方を、ほかの文字にどのように生かすか考えている。 <b>【主】</b> ○学習したことを生かして書いた文字を見直し、画の長さや方向に気をつけて、進んで書こうとしている。
2	<b>▼学びを生かそう</b> <b>・一年生のまとめ</b> p.42～43 ◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ)(ウ) <b>【用具】</b> 鉛筆 <b>★他教科との関連：</b> 国語	○自分のめあてを持ち、既習事項を生かして、正しく整えて書くことができる。	2	①迷路をたどって、1年間の既習事項を確認する。 <b>【点画の書き方】</b> ●平仮名：始筆・終筆（「止め」「払い）」「曲がり」「折れ」「結び」 ●片仮名：「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」 ●漢字：「止め」「はね」「払い」「折れ」「曲がり」「反り」 <b>【書くときの動き】筆順</b> <b>【字形】外形、点画の長さ、点画の方向</b> ②既習事項の中から、自分のめあてを立てる。 ③自分の立てためあてに注意して書く。 ④自己評価・相互評価をする。	<b>【知・技】</b> ○既習事項を理解している。 ○既習事項に注意して、正しく整えて書いている。 <b>【思・判・表】</b> ○既習事項をどのように生かすか考えている。 <b>【主】</b> ○自分のめあてを持って、進んで丁寧に文字を書こうとしている。
3	<b>▼学びを生かそう</b> <b>・できるようになったよ</b> <b>・名まえをかこう</b> p.44～45 ◎〔知識及び技能〕(3) ウ(ア)(イ)(ウ) <b>【用具】</b> 鉛筆・フェルトペンほか <b>★他教科との関連：</b> 国語、生活	○既習事項を理解し、文章を書く場面で生かすことができる。	2	①1年間の既習事項を確認する。 ②既習事項を生かしながら、自分ができるようになったことを紹介する文章やカードなどを丁寧に書く。 ③自己評価・相互評価をする。 ④既習事項を生かして、自分の名前を丁寧に書く。	<b>【知・技】</b> ○既習事項を理解している。 ○既習事項に注意して、正しく整えて書いている。 <b>【思・判・表】</b> ○目的に応じて、既習事項をどのように生かすか考えている。 <b>【主】</b> ○今までの学習を生かして、進んで、一年間を振り返る文章を書こうとしている。